

2011-2012
SNOWBOARD

ハンマーヘッド形状で安定感・操作性向上

レーシング用 国産カーボンスノーボード3機種発売

ヨネックスではレースでの高速滑走時に安定性、操作性にも優れるハンマーヘッド形状を採用したレーシング系スノーボード「ERACER® AS」「ERACER® CS」「ERACER® TS」を発売しております。

アルペンやスノーボードクロスなどのレースにおいて、重要なことはスピードのロスを出さないことです。そのためには、スピードを落とさず、ターンをすることなどが求められます。そこで、ヨネックスではノーズ（板の先端）とテール（板の末端）の幅を広げたノーズロッカー+キャンバーの「ハンマーヘッド」形状を採用しました。この形状の特徴はターン加重時にボードを立てることでエッジ全長が接雪するため安定して加速し、抜重時にはノーズが接雪しないため、雪面に引っかからず操作性が高いことが挙げられます。「ERACER AS」はアルペン競技者、「ERACER CS」はスノーボードクロス競技者、「ERACER TS」は基礎系ユーザーを対象としております。基礎系ユーザーとは、検定受験やインストラクターなどを志すフリーライディングを極めるスノーボーダーのことです。フリーライディングの際は細かい

エッジコントロールが求められるため、フレックスやトーションを ERACER AS や ERACER CS に比べ、やや柔らかく設定したほか、様々なコンディション（湿雪・深雪・アイスバーンなど）に対応できるようハンマーヘッド形状より若干ノーズ長を長くしたセミハンマーヘッド形状を採用しました。レースでは整備された競技専用のコースを滑走しますが、基礎系ユーザーは主に一般的なスキー場で活動するため、様々な雪上コンディションでの滑走となります。セミハンマーヘッド形状にすることでハンマーヘッド形状のエッジングのシャープさと高速の安定性は損なわずに、フリーライディングで求められる不整地でも正確なライディングを行う等の総合滑走性を持つボードとなりました。

弊社のスノーボードは、コア素材にウッドではなくカーボンシートを使用しているため軽量、かつ剛性の高いボードを生産することができます。また、接着剤を使用せずにカーボンシートを編む方向や角度を変化させ、重ねて成型することで、自在なフレックスやトーションバランスが可能になります。今回発売するレーシング用ボードは、フレックスを硬めに設定することで剛性が高まり、滑走中のバタツキを抑えタイムロスを減らす設計としました。

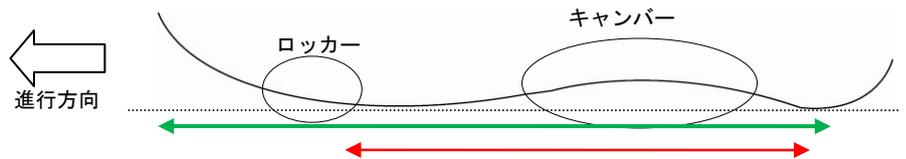
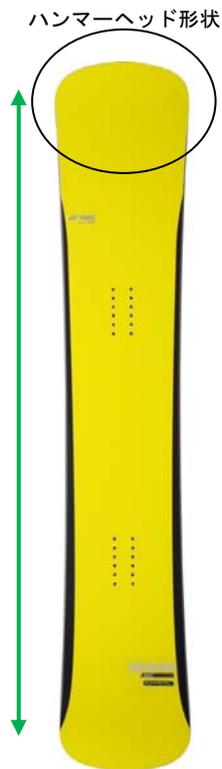


左から：ERACER AS、ERACER CS、ERACER TS

商品特徴

ノーズロッカー+キャンバーのハンマーヘッド形状 (AS・CS) / セミハンマーヘッド形状 (TS)

⇒高速滑走時に高い安定性・操作性を持った滑りを実現。



<特徴>

- ・ハンマーヘッド形状により、ターン加重時には有効エッジ全長（緑線）が接雪するため、安定性が高い。
 - ・抜重時にはロッカー形状のため雪面に引っかからず、また接雪面（赤線）も小さいため、高速滑走時でも操作性が高い。
- ⇒タイムロスが少ない。

セミハンマーヘッド形状



セミハンマーヘッド形状⇒ハンマーヘッド形状より若干ノーズ長を長くした、通常のボードとハンマーヘッド形状の間のようなノーズを持つ形状。

<特徴>

- ・ハンマーヘッド形状のエッジングのキレと高速滑走時の操作性の高さは損なわない。
- ・やや長めのノーズが様々なコンディションの雪面でも影響を受けにくく、正確なライディングを発揮する。

製品概要

	ERACER AS	ERACER CS	ERACER TS
製品名			
品番	ER11AS	ER11CS	ER11TS
価格	¥115,500(本体価格¥110,000)	¥115,500(本体価格¥110,000)	¥99,750(本体価格¥95,000)
カラー	レッド	イエロー	ブラック
サイズ	157,162,168,182	157,160	153,157,161
構造	カーボンサンドウィッチ構造		
素材	ISOコア+高強度カーボン+ゴムメタル+A.V.C+4層エラストマー		ISOコア+高強度カーボン+ゴムメタル+A.V.C+3層エラストマー
滑走材	ISO NANO HIGH SPEED グラファイト・ストラクチャー仕上げ		
原産国	日本		
販売対象	アルペン競技者	スノーボードクロス競技者	検定受験者、インストラクター等

* ヨネックスのスノーボードは、研究開発から素材の加工、成型まで国内自社工場にて一貫して行っているオールカーボンボードです。